

Bad Cat[®]

TUBE AMPLIFIERS USA

UNLEASH

取扱説明書/保証書



この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読み、火災、感電、人身傷害の危険を防止するために指示を守ってください。



警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡または重症など重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- △ この機器を分解したり、改造したりしないでください。
- △ 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。
- △ 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
- △ 修理は、販売店に依頼してください。
- △ この機器は音量設定により難聴になる可能性があります。音量の調整に注意し、大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

設置環境に関して

- △ 次のような場所での使用や保管はしないでください。
 - ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
 - ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
 - ・ 雨に濡れる場所
 - ・ ホコリの多い場所
- △ この機器の上に液体の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。
- △ この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。
- △ この機器の上に乗ったり、上に重いものを置かないでください。
- △ この機器を落としたり、衝撃を与えないでください。
- △ この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

電気、電源に関して

- △ 電源プラグは、必ずAC100V のコンセントに差し込んでください。
- △ 付属電源コードはこの機器以外には使用しないでください。
- △ 電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。
- △ 濡れた手で電源プラグを持って、コンセントに抜き差しをしないでください。
- △ 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。
- △ この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。
- △ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。
- △ 落雷の恐れがあるときは、電源プラグをコンセントから外してください。
- △ 完全に電源を切る必要があるときは、この機器のPOWER ON/OFFスイッチを切った後、コンセントから電源プラグを抜いてください。この機器はコンセントに接続されている場合、POWER ON/OFFスイッチがオフになっていても、電源から完全に絶縁されていません。
- △ 次のような場合は、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから外し、販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 電源コードや電源プラグが破損したとき
 - ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
 - ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
 - ・ 機器に異常や故障が生じたとき
- △ 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。
- △ アンプの電源をオンにした状態でヒューズの交換をしないでください。また定格を超えたヒューズを使わないでください。（機器の安全の為にヒューズが装備されています。ヒューズは外部の衝撃や寿命で切れることもあります。ヒューズが切れた場合内部に重大な故障が発生している可能性が有りますのでヒューズを交換する前に販売店にご相談ください）



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険、物的損害の発生が想定されます。

- △ ギター、シールド・ケーブル、エフェクター等のケーブルの接続、取り外しはボリュームを”0”にするか、POWER ON/OFFスイッチを切ってから行ってください。ケーブルを抜き差しする際のノイズは誤作動やスピーカー破損等この機器に深刻なダメージを与える場合があります。
- △ 小さなお子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人の方が、監視／指導してあげてください。
- △ 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。また小さなお子様の手が届かないように配慮してください。

使用上のご注意

- △ 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- △ 電源プラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い場所のものを使用してください。
- △ この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- △ 故障の原因になりますのでスイッチやつまみに必要以上の力を加えないでください。
- △ テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- △ 携帯電話などの無線機器をこの機器の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時にこの機器から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器をこの機器から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- △ 至近距離から照らす照明器具や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- △ この機器の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- △ この機器にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

- △ この機器の表面をお手入れする前に、電源プラグをコンセントから外してください。
- △ お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。
- △ 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

その他の注意について

- △ 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- △ 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意してください。
- △ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

■はじめに

この度はBADCAT UNLEASHをお買い求め頂き、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分に活用していただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。また本書は大切に保管してください。

■特徴

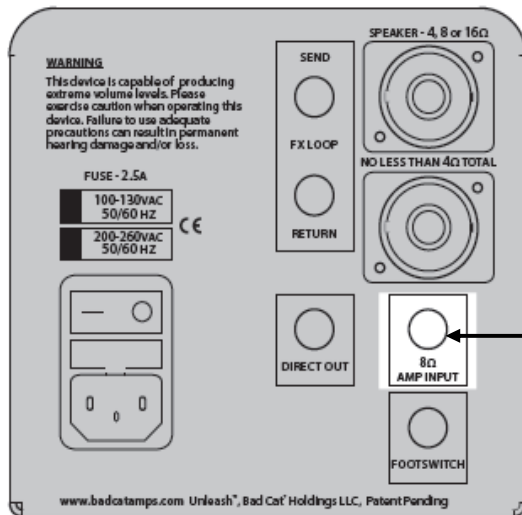
世界初のリアンプ/アッテネーター。この装置はどんなアンプでも出力を1～100Wまでアッテネート(減衰)もしくはブースト(増幅)させることができ、ベッドルームでの小音量練習からクラブでの大音量ライブまでお気に入りのアンプ1台でカバーさせることができる革新的な機器です。2つのフットスイッチング可能なボリュームコントロールによりリズムとリードサウンドの切り替えができ、更にエフェクトループとダイレクトアウト搭載により機能が制限されたアンプを使用する場合でも現代的な機能性を持たせることができます。

■仕様

電圧: 100～130V, 50/60Hz
入力: 1/4インチ(6.5mm)・フォンジャック
入力インピーダンス: 4Ω、8Ω、16Ω切替(8Ωでの入力を最高の音質に設定していますので8Ωでの入力をお勧めいたします。8Ω以外のインピーダンスで入力した場合、音質が若干変わることがあります。)
入力ワットage範囲: 最低2W～最大100W(アンプからは2～100Wの範囲内で入力を行えます。)
△100Wを超える入力は故障の原因となりますので避けてください。
最大出力ワットage: 4Ωキャビネットの場合 - 180W
8Ωキャビネットの場合 - 100W
16Ωキャビネットの場合 - 50W
重量: 2kg
付属品: スピーカーケーブル、電源ケーブル
*製品の仕様は品質向上のため予告無く変更する場合があります。

■使用方法

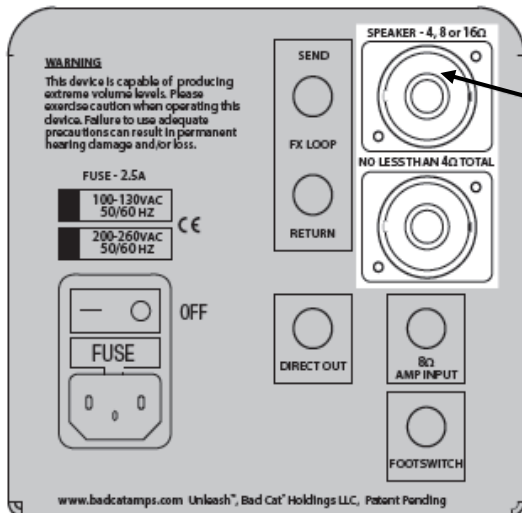
STEP 1 初期設定



- 通常使用しているようにギターとギターアンプのコントロールをセッティングしてください。
- ギターアンプの電源をOFFにし、ギターアンプのスピーカーケーブルを外してください。
- UNLEASHの電源がオフであることを確認します。
- ギターアンプからのスピーカーケーブルをUNLEASHの「8Ω AMP INPUT」に接続します。
- ギターアンプの出カインピーダンスを変更できる場合は出カインピーダンスを8Ωに設定してください。

⚠ 注意 4Ωもしくは16Ωの出カインピーダンスで使用した場合、8Ωの場合と比較して若干音質が変わります。

STEP 2 スピーカー接続



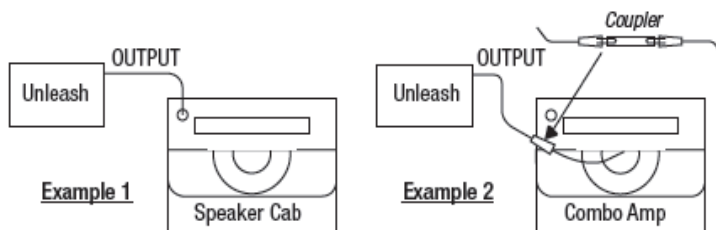
- 付属のスピーカーケーブルを使用し、UNLEASHとスピーカーを接続します。スピーカーケーブルは「SPEAKER - 4, 8 or 16Ω」に接続します。

⚠ 注意 △UNLEASHの電源を入れる前に必ずスピーカーに接続していることを確認してください。
△UNLEASHの「SPEAKER - 4, 8 or 16Ω」にスピーカー以外のものを接続した場合UNLEASHが壊れる原因となります。このことが原因で故障した場合は保証の対象外となりますのでご注意ください。

スピーカー接続例

●フォンジャックでの接続

●カプラーを使用し接続



STEP 3 インプット トリム



INPUT TRIMの使い方を理解することがUNLEASHを使いこなすために重要です。

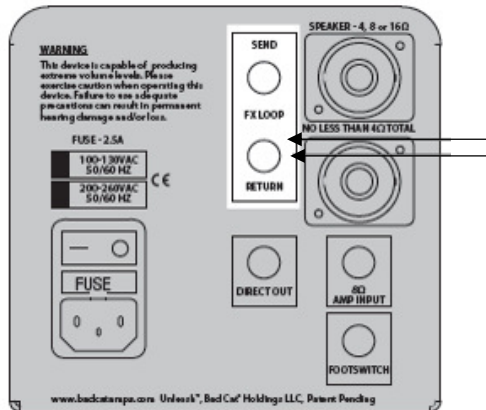
1. フロントコントロールの3つ全てのノブ (CH.1、INPUT TRIM、CH.2) を全て「0」 (反時計回りに) 設定してください。
2. UNLEASHの電源をONにしてください。(電源スイッチは電源ケーブルの上にあります)
3. ギターアンプの電源を入れUNLEASHに接続し、音を出しながらINPUT TRIMを徐々に上げ、赤ダイオードLEDが点滅をはじめたら、そのポイントがUNLEASHに適正なドライブ信号が流れているポイントになります。
4. CH.1のノブをお好みの音量まで上げてください。

注意 △音量の切替をCH.1とCH.2の切替によって行えます。切替にはフットスイッチを使用してください。(UNLEASHにはフットスイッチは付属していません。UNLEASHにはフオンジャック接続シングルボタンフットスイッチが使用できます。)
 △低音量でアッテネータ(減衰)として使用する場合はINPUT TRIMのノブ位置を各チャンネルのボリュームの位置以下に設定してください。また100W以上の入力はUNLEASHの故障の原因となりますので絶対に避けてください。このことが原因で故障した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
 △INPUT TRIMを調整し音色の変化をお試しいただき好みのサウンドが出るポイントを見つけてください。

●お役立ち情報

- 1 UNLEASHへの入力信号が歪んでいない限り、出力信号は歪むことはありません。基本的に入力されたトーンと同じトーンが出力される設計になっています。
- 2 UNLEASHの出力がぼやけている場合は、入力が歪んでいますのでINPUT TRIMを下げてください。
- 3 UNLEASHのトーンがダークになった場合は、接続しているギターアンプのパワー部が歪んでいます。この場合はギターアンプのパワー部のボリューム(マスターボリューム)を下げてください。またギターアンプのトレブル(高音域)を上げることも改善に効果的です。

エフェクトループ



エフェクトセンド:

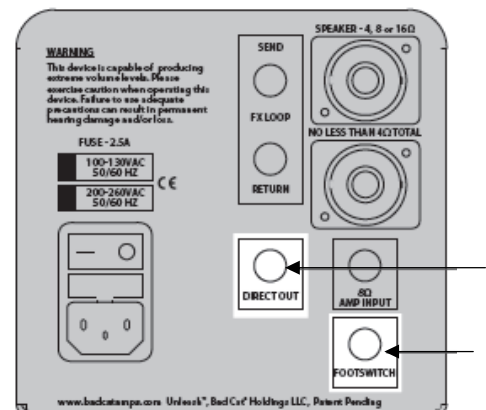
フオンケーブルをSEND ジャックに接続しエフェクター類のインプットにつないでください。

エフェクトリターン:

フオンケーブルをRETURN ジャックに接続しエフェクター類のアウトプットにつないでください。

TIP: UNLEASHエフェクトループにはディレイ、コーラス、ピッチシフターなどの空間系エフェクターをつなぐとより効果的です。ディストーションやオーバードライブなどはギターアンプの前につなぐことをお勧めいたします。

ダイレクトアウト、フットスイッチ



ダイレクトアウト:

ラインレベルの信号が出力されます。PAやレコーディングコンソールなどに接続できます。

フットスイッチ:

フットスイッチによりCH.1とCH.2の切替が可能です。フオンジャック接続のシングルボタンフットスイッチを使用してください。(UNLEASHにフットスイッチは付属しておりません。)